

審議会等の議事の要旨（要点）

会議名称	平成30年度第1回立川市交通結節推進協議会
開催日時	平成30年7月2日（月）午後3時～午後4時45分
開催場所	立川市役所 2階 205会議室
次第	<p>1. 開 会</p> <p>（1）会長、副会長あいさつ</p> <p>（2）委員紹介</p> <p>2. 議 事</p> <p>（1）趣旨説明</p> <p>（2）検討内容とスケジュールについて</p> <p>（3）立川ターミナルの現況について</p> <p>（4）整備計画（案）第1期について</p> <p>（5）実地踏査（案）について</p> <p>3. その他</p> <p>4. 閉 会</p>
配布資料	<p>資料1：趣旨説明</p> <p>資料2：検討内容とスケジュール</p> <p>資料3：立川ターミナルの現況</p> <p>資料4：整備計画（案）第1期の検討内容</p> <p>資料5：実地踏査（案）について</p>
出席者	<p>[委員]</p> <p>小早川悟会長、稲垣具志副会長</p> <p>小倉秀夫委員、竹島達也委員（代理 宮迫様）、田崎達久委員（代理 早田様）、藤原廣彦委員、原清委員、関達夫委員、蛭間浩之委員、青山伸也委員、伊藤正人委員、村本慎治委員、山本繁樹委員、菊地英一委員、鈴木一男委員（代理 宮内様）、堀川誠司委員（代理 鈴木様）、若林勝司委員、川口哲生委員</p> <p>[事務局]</p> <p>浅見知明（交通対策課長）、石堂修（交通企画係長）、伊藤和香子（交通企画係主任）、松崎達矢（交通企画係主任）</p>
公開及び非公開	公開
傍聴者数	無し
会議結果	<p>1. 開 会</p> <p>（1）会長、副会長あいさつ</p> <p>（2）委員紹介</p> <p>2. 議 事</p> <p>（1）趣旨説明、（2）検討内容とスケジュールについて、事務局より説明を行い、質疑応答を行った。</p>

<会長>

昨年度の検討結果である基本ルール（案）については、今回初めて見る方もいるので、目を通しておいて欲しい。その上で何かあればご意見をお願いしたい。また、基本ルールについては、どのタイミングで公表していくことになるのか。

<事務局>

協議会での検討を経て、整備計画（案）とあわせた公表を予定している。

<会長>

世界的なスポーツイベントが開催されるなか、直近のRWC2019の関連する施設等はあるのか。また、それまでに第1期整備は実施できるのか。

<事務局>

関連施設は予定されていない。ただ、調布市、府中市は大会等に関連していることから、近隣である本市にも外国人利用者等の増加が想定されるため、その点は今回の利便性向上で対応できることもあると考えている。また、整備計画（案）を今年度検討予定のため、RWC大会スタートまでの実施整備は難しいかもしれない。

<委員>

武蔵野市の吉祥寺周辺のホテルが利用されるという話もある。その点からも人が流れてくることも予想できる。また、多摩地域である味の素スタジアムが会場なので、多摩地域は盛り上がるのではないかな。

<会長>

都内で9つのターミナルがあるとのことだが、それらの整備状況がわかれば教えて欲しい。

<委員>

全体としては東京2020大会を目指して進めている。その中で新宿駅については、昨年度より整備が始まっており、渋谷駅、池袋駅については今年度から整備が進められると聞いている。その他のターミナルについては、立川駅と同様に基本ルール等の検討中である。

<委員>

9駅あるとのことだが、それぞれの統一化の動きはあるのか。

<委員>

東京都でターミナル駅利便性向上指針を作成しており、その内容を踏まえて、各ターミナルで検討してもらっている。各駅の特色を踏まえつつも、ピクトグラムなどの基本的な事項は統一することとしている。

(3) 立川ターミナルの現況について、事務局より説明を行い、質疑応答を行った。

<副会長>

現況説明の中で、特に北口のバスのりばの島（歩道）が狭い等の状況があると説明があったが、その点で利用者からの意見等はあるのか。

<委員>

大きな問題は発生していない状況である。ただ、北口については「利用者が多い場合は階段まで並ぶため歩行部分が狭くなる」、「車いす利用者はエレベーター（以下、E V）を利用し横断歩道を渡るため並んでいる人が多いケースにおいては利用しづらくなる」等は認識している。また、係員等については、イベント等で利用者が多いケースでは想定されるが、通常は配置していない。

<委員>

立川駅に入るバス路線が少なく、利用者も少ないことからあまり課題等は挙がっていない。

<副会長>

ジャパントクシーの話もあったが、状況等がわかれば説明して欲しい。

<委員>

ジャパントクシーについては、国や事業者とも協議中だが、現状では車いすのまま乗車すると一定の幅が必要になる。その対策としてはスロープ2枚が必要になるが、段差があるとさらに良く、若干距離が短くなるとされている。また、乗車までに時間がかかることも課題となっており、あわせて継続協議中である。車両についても改良が随時進んでいるところである。立川駅では北口のタクシーのりばから通りに入る際に急カーブになるため、可能であればその点についても検討して欲しい。

<副会長>

案内所が複数あるということだが、市内の観光案内として、外国人や障害者への対応を含めどのような状況なのか。

<委員>

案内所に常駐して対応しているということではない。ただ、観光資源等の情報については立川市、東京都にあわせて提供しているが、案内所として機能しているかという点では難しい状況である。また、情報手段が多岐に渡るなか、現状では自由通路や南北の駅前広場にメインで提供されているFree Wi-Fiを、都市軸や昭和記念公園まで拡大していければと考えている。多言語対応等を踏まえると、紙媒

体等だけでは難しい場合もあるため、様々な手段を組み合わせしていくことが必要になるのではないか。

<委員>

サインという視点では、北口バスのりばの案内は、路線案内など行き先等を含め、非常に分かりづらいつ感じている。また、情報量の問題もあるが、高齢者の利用も想定すると字が小さくて見づらいつ、さらに、外国人を想定した多言語などへの対応も必要になるのではないか。立川市では「立川市障害のある人もない人も共に暮らしやすいまちをつくる条例／平成30年4月1日」が施行され、障害のある人もない人も共に暮らしやすいまちをつくつていこうとなつていてため、そのような理念も想定して進めていくことも必要になるのではないか。

<副会長>

観光等も踏まえたユニバーサルデザイン（以下、UD）対応については、商業者目線においても重要な視点になるのではないかと思う。移動が困難な場合は、来訪者の中で何らかの障害を持った方がいた場合は、UD対応ができていないだけで、候補から外れることも想定される。そういった中で良好なターミナル環境を創つていくとなると、個々での対応というより横のつながりも重要になってくるのではないか。立川駅周辺に関わる商業者、事業者、行政と利用者がお互いによい影響となれば、良いターミナルになっていくのではないかと考えている、今後は実際の問題として障害のある方が遠回りをしなくてはならないというような課題についても、一つ一つ議論していくことも必要になるのかもしれない。

<会長>

他の委員でターミナルの現状について何かあれば教えて欲しい。

<委員>

ターミナルにおいては、商工会議所として北口デッキと都市軸を結ぶ部分にエスカレーターの設置を市に要望している。今後は都市軸の緑地区再開発で宿泊、ホール、業務機能などを含む複合施設の建設予定があるため、人の流れが大きく変わると思う。その点を踏まえておく必要があるのではないか。

<委員>

立川駅構内のEVの設置位置がわかりにくい印象がある。デッキ上の案内については少ないような印象を受ける。

<委員>

南口では客引き等も多くパトロールなどを行っている。サイン等については、なかなか着目できていなかったため、勉強していきたい。

<副会長>

Free Wi-Fiの話があったが、こういった情報が検索されているか等は整理されているのか。

<委員>

エリアの拡大はできていないため、まだ情報は上がっていない。まずは、ハード整備からという状況である。

(4) 整備計画(案)第1期の検討内容について、事務局より説明を行い、質疑応答を行った。

<委員>

整備の視点の整理のなかで、エスカレーターが「バリアフリーの推進」の項目に入ることは問題ないのか。

<副会長>

バリアフリー施設に該当するかということはあると思う。ただ、現状で階段、EV、スロープがある場所にエスカレーターが設置されるということだが、人の流れが変化するという状況も踏まえると、本来、EVを利用すべき方々が別の目的の人が利用することで、利用しづらい状況になることも想定される。その中で、エスカレーターを設置し、一部の利用者がそちらに流れることで、EVの利用状況の改善に繋がることも考えられる。そういった視点ではUD対応しているということになるのではないか。

<副会長>

第1期の検討内容に誘導ブロックについても触れられているが、サイン整備と同時に実施していくイメージか。

<事務局>

予算等の状況もあるが、東京2020大会に向けて、まずはサインの整備、エスカレーターの設置を先行して行い、その後に本協議会での協議を踏まえて、可能なものから実施していくことを想定している。

<会長>

検討過程において、新たな課題があった場合の対応は可能なのか。

<事務局>

第1期以降の検討状況に応じて、可能であれば対応していきたい。

<副会長>

北口バスのりば14~16については、今回の対象から外れるのか。

<事務局>

起点・目的地となる交通施設として捉えているので、今回の計画で対応していくことになると考えている。

	<p>(5) 実地踏査(案)について、事務局より説明を行い、質疑応答を行った。</p> <p><会長> 実地踏査の対象イメージは。</p> <p><事務局> サイン等の現況の検証を目的に行うため、参加者は主に立川駅を初めて訪れる方、障害を持った方を予定している。</p> <p><副会長> ユーザー目線で現地にて課題確認できるのは良いと思う。当事者に確認すると、通常では考えていない課題等も認識できるため、できれば事業者の方に参加いただけると良いのではないか。また、今回は、一般的なサインが対象となるが、多様な情報手段を想定し、将来的には音、通信など動的なサインについても検討していくことが必要になるのではないか。</p> <p><委員> 地域公共交通の利用者を代表する委員には、今回の条件に合致する方もいるので、調整してはどうか。</p> <p><事務局> 参加者については、今後、調整していきたい。確定次第、委員には情報提供していきたい。</p> <p>3. その他</p> <p><事務局> 次回については実地踏査の結果等を踏まえ、整備の方向性、各整備の内容等を提示していきたい。第2回の開催は10月上旬を予定している。</p> <p>4. 閉 会</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
担当	まちづくり部交通対策課交通企画係 電話 042-523-2111 (2279)